



2019年度第1四半期決算

JT Group CFO
見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド11、12に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

為替一定調整後営業利益は7%成長 順調なスタート

(億円)

為替一定調整後営業利益

- ・ 海外たばこ：プライシングが牽引し高成長
- ・ 国内たばこ：プライシングとRRP数量増により増益

調整後営業利益

- ・ 為替の不利な影響により減益

営業利益・四半期利益

- ・ 医薬の契約解消に係る一時金収入により増益
 - 不動産売却益の減少、買収に係る償却費の増加
 - 金融費用の増加
- 等の減益要因を上回る

	19Q1実績	対前年
為替一定ベース 調整後営業利益	1,587	+7.2%
財務報告ベース		
売上収益	5,054	▲1.9%
調整後営業利益	1,388	▲6.3%
営業利益	1,826	+24.4%
四半期利益	1,208	+16.2%

トータルシェアの向上を目指す 計画前提に変更なし

たばこ総需要

- RMC：定価改定とRRP市場拡大の影響により減少
- RRP：拡大し、市場占有率は約23%*と推計
- たばこ総需要：対前年5%弱*の減少と推計 *出荷ベース

JT数量実績

- RMC：JT銘柄全体では堅調
- RRP：対前年で大幅増。ただし、対前四半期では数量減
19Q1カテゴリー内シェアは、約8%**と推計 **実需ベース
- トータルシェア：対前年・対前四半期で減少

想定通りの実績 通期利益目標の達成を目指す

調整後営業利益+4.2%

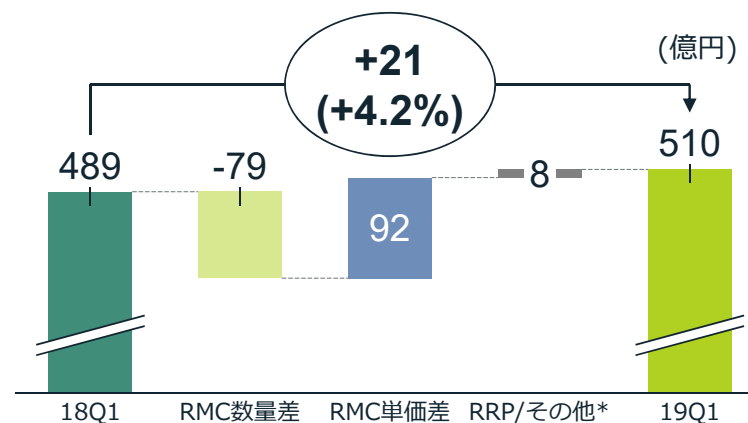
- RRPの販売数量増加
- RMCのプライシング効果

Q2以降、通期での利益目標達成に向けて

- トップラインの向上に取り組む
- 経費の適切なマネージ

	(億円)	
	19Q1実績	対前年
自社たばこ製品 売上収益	1,335	+3.2%
調整後営業利益	510	+4.2%

調整後営業利益



*製造コスト、販促投資、販管費等を含む

Ploom TECH+6都府県拡販 ポートフォリオ全体を活用してシェア拡大

4月からのPloom TECH+の6都府県拡販に伴い、 RRP販売数量は足元で順調に増加

- 購入層は、RMC・JT RRP・競合RRPユーザーと様々
- お客様に新たな選択肢を提供
- 全国拡販を6月中旬から開始

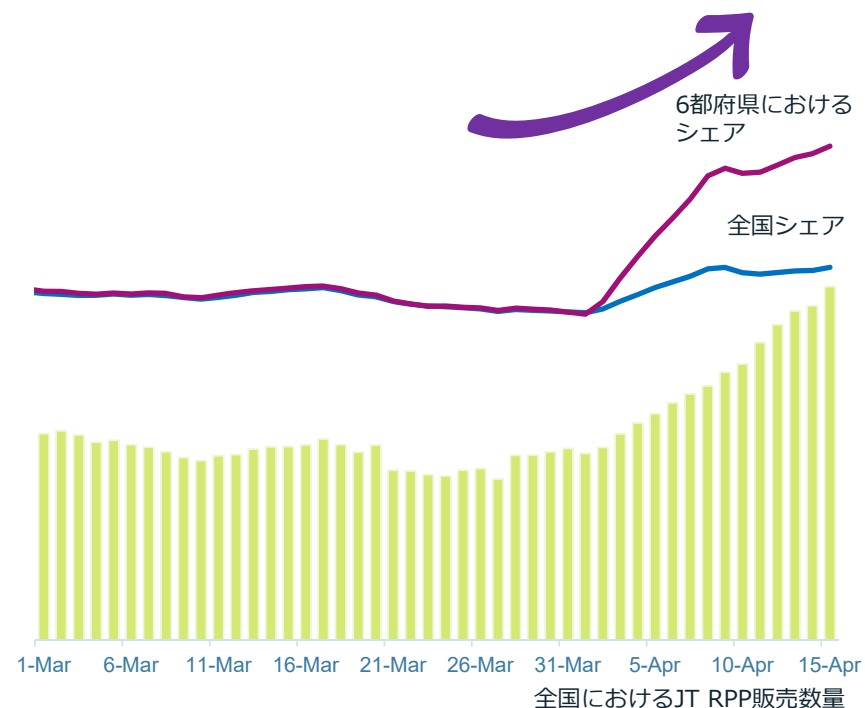
Ploom Sは、認知向上を目指す

- 7月から6都府県拡販、9月から全国拡販

Ploom TECHならではのベネフィットを訴求

- ターゲットを絞った効率的なマーケティングを実施

JT RRP販売数量*とカテゴリ内シェア*



*JT推計：実需ベース、7日移動平均数量と7日移動平均シェア

プライシング効果が着実に発現

買収効果とシェア上昇等により、総販売数量+6.5%

- バングラデシュ、ロシアでの買収
- 多くの主要市場でのシェア上昇

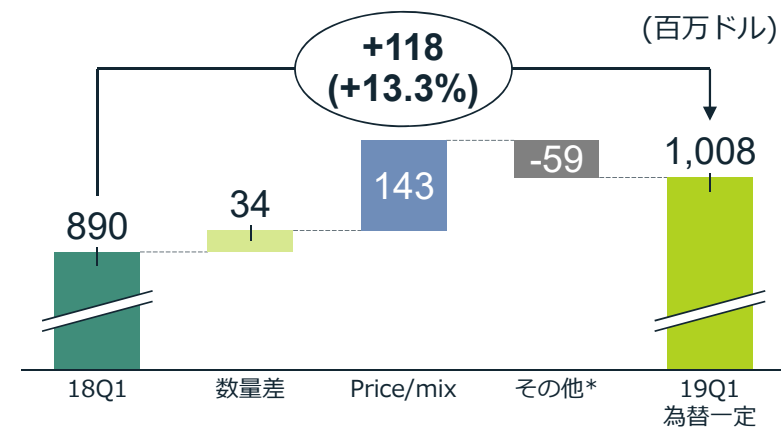
プライシングが調整後営業利益の成長を牽引

- イラン、英国、カナダ、ドイツ、フィリピン、ロシア等が貢献
- RRPをはじめ事業投資を継続

(百万ドル)

為替一定ベース	19Q1実績	対前年
自社たばこ製品 売上収益	2,940	+7.9%
調整後営業利益	1,008	+13.3%

調整後営業利益（為替一定ベース）



*製造コスト、販促投資、販管費等を含む

想定していた為替影響により、財務報告ベースでは減益

事業パフォーマンスは好調も、ネガティブな為替影響をうける

- IRR、RUBの下落が主因
- ネガティブな為替影響は下期では縮小する見込

対ドルレートの変移

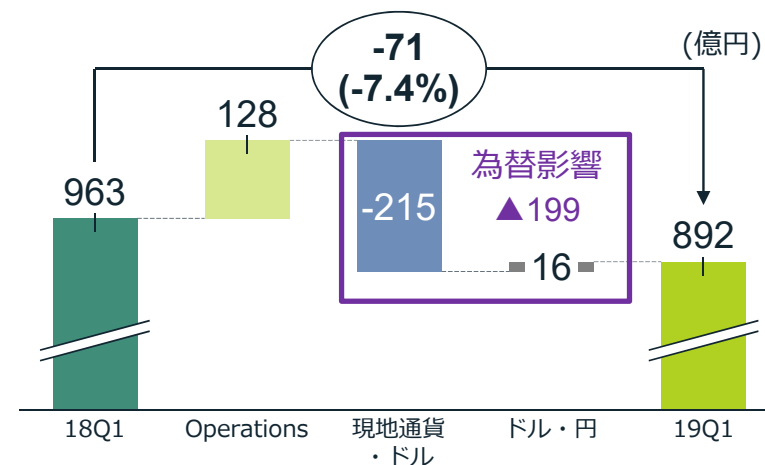
	18Q1	19Q1	変化率
\$/IRR	46,583	88,454	47.3%安
\$/RUB	56.88	66.12	14.0%安
\$/TRY	3.81	5.36	28.9%安
\$/JPY	108.22	110.22	1.8%安

EUR/IRR換算から、上記表のUSD/IRRを算出

(億円)

財務報告ベース	19Q1実績	対前年
自社たばこ製品 売上収益	2,868	▲2.7%
調整後営業利益	892	▲7.4%

調整後営業利益（財務報告ベース）



医薬事業：抗HIV薬のライセンス契約解消等により減益
加工食品事業：ステープル商品は販売伸長も減益

医薬事業

- ・ 国内での抗HIV薬ライセンス契約解消の影響等により、売上収益・調整後営業利益ともに減少

	(億円)	
	19Q1実績	対前年
売上収益	228	▲39
調整後営業利益	45	▲32

加工食品事業

- ・ ステープル商品の販売は伸長するも、売上収益・調整後営業利益ともに減少

	(億円)	
	19Q1実績	対前年
売上収益	360	▲17
調整後営業利益	3	▲4

Closing remarks

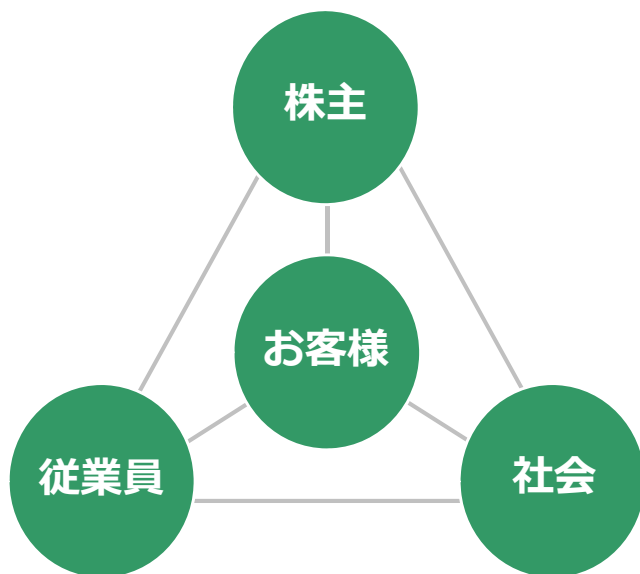
事業を取り巻く様々なリスクに適切に対応していく

- Brexit
- カナダ訴訟
- 地政学的リスク

自己株式取得完了

- 2月8日～3月18日で実施
- 合計：約1,800万株 / 約500億円

堅調なスタートを土台に、通期での見込達成を目指す



<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定 調整後営業利益：	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
四半期利益・当期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益・当期利益
Reduced-Risk Products： (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB： (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Reduced-Risk Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Reduced-Risk Productsの売上込み

<用語の定義>

為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益： (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこの販売本数（Reduced-Risk Products等を含む）
RMC総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Reduced-Risk Products等は含まない）
RMC販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Productsを除く、JT紙巻たばこの販売本数
RRP販売数量： (国内たばこ事業)	1パック当たり紙巻たばこ20本として換算（デバイス/関連アクセサリー等は含まない）
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Products関連の売上を含む
RRP関連売上収益： (国内たばこ事業)	国内たばこ事業における自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリー等を含む Reduced-Risk Productsの売上